

『桐生市ごみ減量化推進協議会との3R交流会』報告

開催概要：

プラスチックなどの容器包装の3Rの推進をテーマに、
桐生市ごみ減量化推進協議会と3R交流会を開催しました。

日時：2019年3月26日（火） 15:10～16:30

開催場所：桐生市役所 議事堂2階 正庁1・2

参加者：桐生市ごみ減量化推進協議会 30名

桐生市役所 6名

事業者 10名 計46名



プログラム：

時間	内容
15:10～15:15	主催者挨拶：プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事 久保直紀
15:15～15:45	事業者の取組み報告① –プラスチック容器包装と3R– プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事 久保直紀
15:45～15:55	事業者の取組み報告② –環境負荷低減に向けた当社の取組み事例– ライオン(株) CSV推進部 環境戦略室 主任部員 田能村真里
15:55～16:05	3Rクイズ プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 アドバイザー 公文正人 プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 藤津雅子
16:05～16:30	質疑応答

内容：

- ・「プラスチック容器包装と3R」久保専務理事：昨今のプラスチックに関する諸問題、プラスチック容器包装の性質、材質、機能、リサイクルと3Rの取組、容リ制度、ペットボトルなどについて概要説明
- ・「環境負荷低減にむけた具体的な取組み事例」ライオン(株) 田能村主任：洗剤のコンパクト化や詰め替え容器によるプラスチック使用量削減などの環境負荷低減、ハブラシリサイクルなどの紹介。
- ・身近な3Rを題材にしたクイズ：楽しみながら3Rの理解を深化。
- ・昨今の海洋プラスチックごみ問題やリサイクルの具体的方法について強い関心が寄せられた。また、分別回収の種類が増えると、収集物の箱や袋の数が増えて保管場所に困るといった問題点や、捨てればごみ、再生すれば資源となる日用品のハブラシ回収への関心など、様々な視点から活発な質疑応答が行われた。
- ・桐生市役所の要請により、7月頃に、2019年度の市民・行政・事業者の意見交換会を開催することとなった。

以上